

No. 350【2019年3月29日配信】

文化財課10大ニュース(担当:児玉)

こんにちは。文化財課の児玉です。今年度も残りあとわずかとなりました。

今回は、平成30年度を振り返る文化財課10大ニュースを紹介します。

(1) 4月24日 青森市内の東中学校付近で、特別天然記念物ニホンカモシカが出没。かつてないほどの巨体で、ツノが長く、威嚇を繰り返すカモシカでした。捕獲後、山へ解き放ったところ、直後に反転し、職員が攻撃されました。けがはありませんでした。

(2) 5月29日、青森市森林博物館に展示している津軽森林鉄道の客車や運材台車などを含む『我が国初の森林鉄道「津軽森林鉄道」遺構群及び関連資料群』が、一般社団法人日本森林学会による「林業遺産」に認定されました。

(3) 7月19日、国の文化審議会世界文化遺産部会が開催され、「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコの世界文化遺産の推薦候補に選定されました。しかし、競合していた自然遺産の推薦候補「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が11月2日に政府に選ばれ、縄文遺跡群は来年度以降の推薦となりました。

(4) 7月21・22日、“あおり北のまほろば歴史館”で『開館3周年記念イベント・夏の工芸学校』と“青森市森林博物館”で『明治建築で楽しむ森博 夏まつり』を同時開催。また、8月11日には、“縄文の学び舎・小牧野館”で『こまきのヴィレッジまつり』を開催。いずれのイベントもたくさんの来館者でにぎわいました。

(5) 9月8日、「中世の里 浪岡」を、より一層PRするため、包装紙デザインワークショップを“青森市浪岡交流センターあびねす”で開催。そこでのアイデアをもとに複数のデザイン案を作成。その後、アンケートや投票などを経て、2種類の包装紙を製作しました。これらの包装紙は、現在、浪岡地区の商店街などで活用されています。

(6) 10月7日、この日、“小牧野遺跡”で予定していた『こまきの縄文DAY』について、台風の影響により、場所を“縄文の学び舎・小牧野館”に変更して開催。また、遺跡周辺の農道が倒木で塞がれてしまい、足止め状態となっていた自動車の救出を地域住民と協力して行いました。

(7) 10月8日、“あおり北のまほろば歴史館”で『第3回こども民俗フェス』を開催。今回は、青森市PTA連合会主催の「青森市PTAフェスティバル」との併催により、座談会や児童・生徒による吹奏楽や、バレエ等の日頃の活動などを披露しました。

(8) 10月14日、浪岡城跡を舞台に、中世の戦に見立てた『スポーツ鬼ごっこ合戦「浪岡の陣」』を開催。市内の小・中学生30名が赤組と青組に分かれ、戦略を巡らせながらスポンジ製の刀を手に熱戦を繰り広げました。

(9) 11月4日、浪岡城跡出土の陶磁器をイメージしたクッキー教室を“青森市中世の館”で開催。参加者約40名が筆をとり、本物そっくりな「陶磁器クッキー」を作りました。

(10) 2月23・24日、“縄文の学び舎・小牧野館”で縄文をテーマに、作家の皆さんと一緒に匠の技を活かしたワークショップイベント「縄文の匠4」を開催。また、24日は、国の天皇陛下御在位三十年記念慶祝事業に伴い、市内の文化財関係展示施設を無料公開するとともに、“あおり北のまほろば歴史館”で皇室関係写真パネル展を開催しました(3月25日まで)。

来年度は、天皇陛下が退位される日が4月30日、皇太子さまが翌5月1日に新天皇に即位され、新元号となりますが、どんな元号になるのか今から楽しみです。